学校番号	323

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新現代社会（実教出版）						
副教材等	本質が見えてくる　最新現代社会資料集　新版（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代のわたしたちの周りには、さまざまな解決すべき課題があります。「現代社会」の授業は、皆さんが社会の一員して、これらの課題について自ら考えることができるようになるための基本的な知識と判断力を養うことをめざし、学んでいきます。そのためには、単に教科書に書かれていることだけにとどまらず、日々刻々と伝えられるニュースにも目を向け、現在進行形で学ぶことが大切です。そして、知り得た情報は、知識として記憶の中にとどめるだけではなく、よりよい社会の形成と平和に寄与するために用いることが大切です。社会とのつながりを常に意識し、ともに学んでいきましょう。

２　学習の到達目標

広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めるとともに、人間としての在り方や生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自分が社会の一員であることを自覚し、現代社会の基本的問題と人間の関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとしている。	現代社会において、基本的問題と人間に関わる事柄を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方・生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ自ら公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する力を身に付つけている。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関して、教科書・資料集・新聞・インターネットなどで諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学ぶ方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間の在り方･生き方とに関わる基本的な事柄や､学び方を理解し､その知識を身に付けている。
評価方法	授業中の態度・発言。 レポートの提出。	提出プリントの記述。 考査における論述。	考査の資料問題。 課題追求学習の情報収集。	考査の知識問題。 ニュースに関する問題。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	「わたしたちの生きる社会」「現代の社会と人間」	・現代社会における諸課題、特に生命、情報、環境を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤としての幸福、正義、公正などの枠組みついて理解する。 ・自己理解を進め、自己形成の課題を考察し、勤労観・職業観を含め、どのように社会参加を果たしていくのか、など自らの人間としての在り方生き方について考察する。	○			○	a: 現代社会の諸課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、考察しようとしている。 b: 現代社会の諸課題について、いかに生きるかについて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c: 諸資料をメディアを通して収集し、効果的に活用している。 d: 現代社会の諸課題の現状や青年期の意義、社会参加などについて理解し、その知識を身に付けている。	・定期考査 ・レポート課題 ・資料の読み取り ・小テスト ・授業態度
1学期期末	現代民主政治」「日本国憲法」「世界の政治制度」	・「民主政治とは何か」人権の保障、国民主権、議会制民主主義、権力分立、法の支配など民主政治の基本原理などについて理解を深める。 ・民主政治における個人と国家について考察する。 ・政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深め、主権者としての意識を身に付ける。	○		○	○	a: 民主政治の本質や現代政治の特質を意欲的に追求しようとしている b: 国民主権を原理とする民主政治の本質や各国政治制度の様々な特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で表現している。 c: 現代政治の特質に関する情報を収集し、適切に活用できる。 d: 民主政治の基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。	・定期考査 ・レポート課題 ・資料の読み取り ・小テスト ・授業態度

2学期中間	「日本国憲法の基本的性格」「日本の政治機構と政治参加」	・日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障、平和主義について理解を深める。 ・人類普遍の価値ともいえる生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察する。 ・日本の安全を守る安全保障政策について理解することを考察する。 ・日本の行政、立法、司法制度について理解を深める。 ・民主政治における個人と国家について考察する。 ・法や規範の意義や役割について理解を深め、法意識を高める。 ・地方自治の意味を理解する。 ・政治参加の重要性と民主社会において、自ら生きる倫理について自覚を深めさせ、主権者としての意識を身に付ける。	○	○		○	a: 主権者として憲法成立過程と基本的人権、平和主義の内容を意欲的に追求しようとしている。現代政治への関心が高まり、主権者意識が身に付いている。 b: 人権問題、安全保障を多面的・多角的に考察し、結果と根拠を様々な方法で表現している。政治について考察し、政治の在り方を公正に判断し、その結果を適切に表現している。 c: 人権や安全保障の時事的な自称を収集し、適切に活用できる。 d: 憲法が普遍性を持つこと気づき、人権が生まれながらの権利であること、他者の権利の尊重を理解、知識を身に付けている。本の政治制度について理解し、その知識を身に付けている。	・定期考査 ・レポート課題 ・資料の読み取り ・小テスト ・授業態度

2学期期末	「現代の経済社会と国民生活」	・現代の経済社会の変容について理解を深める。 ・市場機構の機能と限界を理解させ、市場の問題点を考察する。 ・個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。 ・経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察する。 ・政府の役割と財政、租税、金融について理解を深めさせ、日本の経済政策の方向性を考察する。 ・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 ・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 ・日本の雇用、労働、社会保障について理解を深めるとともに今後の在り方について考察する。	○	○	○	○	a: 現代の日本経済の動向や雇用・労働、環境、社会保障に対する関心が高まり、経済社会の一員の意識が身に付いている。 b: 経済の特質、経済政策、消費者、労働、社会保障などについて多角的多面的に考察し、様々な立場に立って公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c: 日本経済の課題に関する時事的事象の情報を様々なメディアを通して収集している。 d: 市場、政府の経済活動、雇用・労働、社会保障、公害などについて理解し、その知識を身に付けている。	・定期考査 ・レポート課題 ・資料の読み取り ・小テスト ・授業態度
3学期	「国際社会と人類の課題」「共生社会」	・グローバル化が進展する国際社会の政治の動向を理解する。 ・国際法の意義、人種・民族問題、国際紛争、核兵器と軍縮について理解する。 ・国際社会における貧困や格差について理解するとともに先進国日本の国際社会で果たすべき役割について考察する。 ・持続可能な社会の形成に参画するという観点から、現代社会に対する理解を深めるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。	○	○	○	○	a: 国際政治、国際経済への関心。持続可能な社会の形成に対する関心を高めている。 b: 国際政治、国際経済の課題を考察。持続可能な社会に参画するという観点の課題を多角的多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 国際政治、国際経済の時事的事象の情報を適切に選択し、活用している。 d: 課題を追究するための方法について理解し、その知識を習得している。	・定期考査 ・レポート課題 ・資料の読み取り ・小テスト ・授業態度

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。